

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和02年12月10日

計画の名称	第2期 安心・快適な居住環境づくり(防災・安全)													
計画の期間	令和03年度 ~ 令和07年度 (5年間)								重点配分対象の該当					
交付対象	遠野市													
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。													
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)		222	A	222	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初	R4末	R7末
1	処理場の長寿命化計画実施率を0%(R3)から100%(R7)に増加させる。			
	処理場の長寿命化計画の実施率	0%	0%	100%
	改築工事実施済処理場数(箇所) / 改築工事が必要な処理場数(箇所)			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

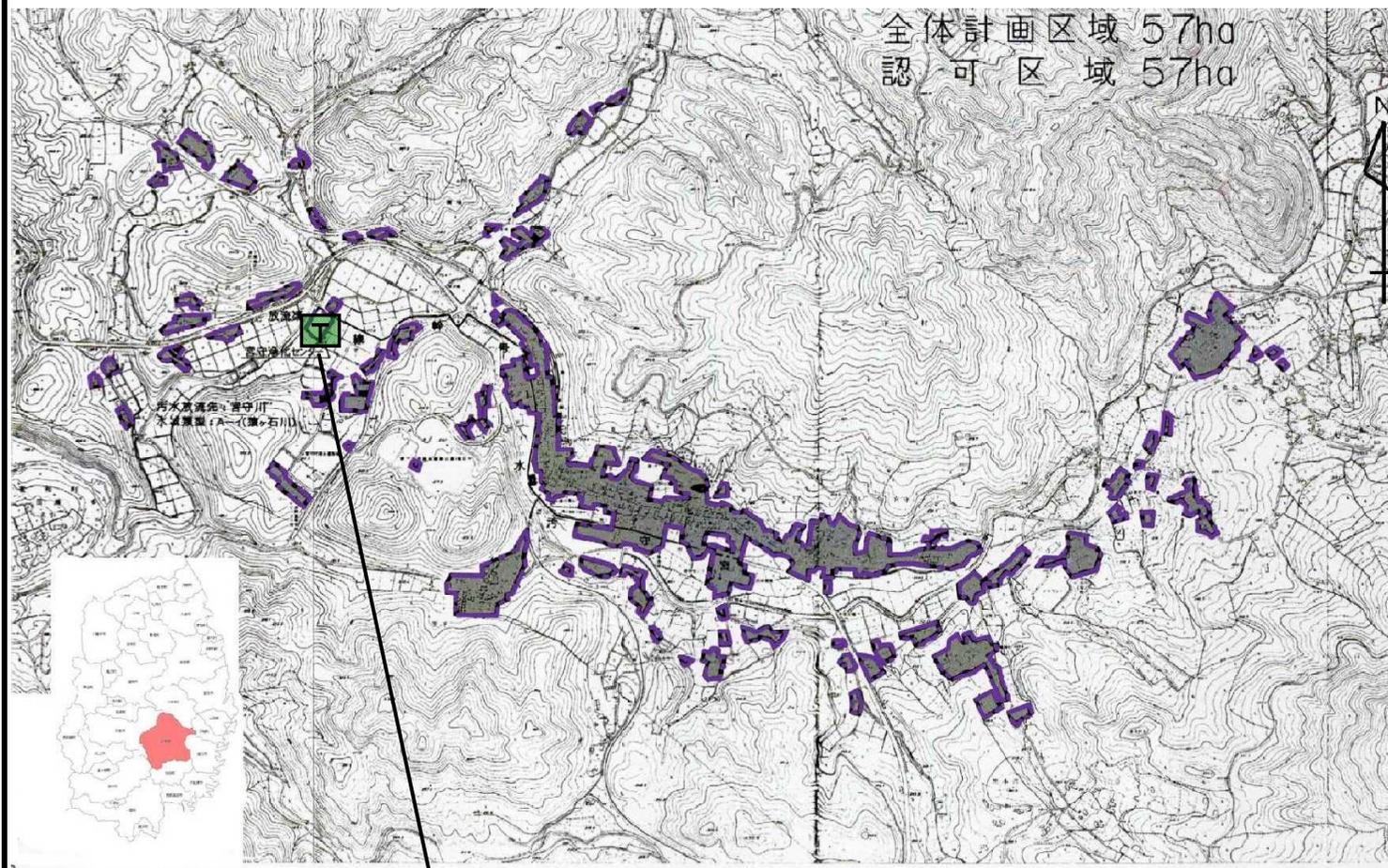
A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R03	R04	R05	R06	R07			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	遠野市	直接	遠野市	終末処 理場	改築	宮守浄化センターストック マネジメント計画策定	調査・計画策定	遠野市						12		未策定
	A07-002	下水道	一般	遠野市	直接	遠野市	終末処 理場	改築	宮守浄化センター長寿命 化対策	設備更新	遠野市						210		未策定
											小計						222		
											合計						222		

(参考様式3) (参考図面)

計画の名称	第2期 安心・快適な居住環境づくり(防災・安全)		
計画の期間	令和3年度～令和7年度(5年間)	交付対象	遠野市

宮守処理区



A07-001 宮守浄化センターストックマネジメント計画策定  
 A07-002 宮守浄化センター長寿命化対策

凡例

- 下水道法による事業計画区域 (整備予定区域)
- 既設幹線
- P ポンプ場
- T 処理場
- 枝線整備

整備予定箇所の色分け

	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">P</span>	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">T</span>	新設 (赤)
	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">P</span>	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">T</span>	増設 (青)
	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">P</span>	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">T</span>	改築 (緑)

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 第2期 安心・快適な居住環境づくり（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画との適合等 1) 都道府県構想（見直し予定を含む）に適合している。	○
I. 目標の妥当性 上位計画との適合等 2) 流域下水道事業と整合性が確保されている。（流域関連公共下水道のみ）	
I. 目標の妥当性 上位計画との適合等 3) 市町村独自の下水道整備計画と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 目標および内容の妥当性 1) 計画人口は適正な数値となっている。（人口普及率を目標とした場合）	
I. 目標の妥当性 目標および内容の妥当性 2) 緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が住民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 5) 下水道整備が、他の汚水処理施設の設置より優位となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事情効果が得られる事業で構成されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 河川等の水質改善に効果がある。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 3) 地震、降雨等により生じる災害を防止する施設を設置する計画となっている。	
III. 計画の実現可能性 計画の具体性 1) 市町村独自の中期計画に基づいた計画になっている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性 2) 都道府県構想により定められた目標と整合する計画になっている。	○

